

第 136 回 学長定例記者会見

日時：令和 3 年 8 月 31 日（火） 11：00～11：30

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟 4 階 4F 会議室

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 広島大学から世界へ ～ 世界のトップ研究者に聞く 第5弾 ～
ノーベル生理学・医学賞受賞者 ハーベイ・オルター博士による講演会
を開催
2. 「広島大学環境物質研究総覧」を発刊しました
3. 第 14 回アジア交通学会国際会議の開催について
4. 本学の学生・教職員を対象としたワクチン接種の状況について

【お知らせ事項】

1. 文部科学省教育関係共同利用拠点に「水産実験所」および
「附属練習船豊潮丸」が再々認定されました

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 3 年 9 月下旬

場所： 広島大学 霞キャンパス

令和 3 年 8 月 3 1 日

広島大学から世界へ
～世界のトップ研究者に聞く 第 5 弾～
ノーベル生理学・医学賞受賞者
ハーベイ・オルター博士による講演会を開催

2020 年にノーベル生理学・医学賞を受賞されたハーベイ・オルター博士をお迎えし、「広島大学知のフォーラム」を下記のとおり開催します。

ハーベイ・オルター博士は、世界で推定約 7,100 万人が感染している C 型肝炎ウイルスを発見しました。この発見は後に高精度の検査や治療薬の開発につながり、多くの命が救われました。

世界のトップ研究者のお話を聞くことができるまたとない機会です。世界トップレベルの最先端研究を体感してください。

記

【日 時】 9 月 25 日（土） 14：00～16：00

【実施方法】 Zoom（先着 500 名まで）
※501 名以降は YouTube 配信を閲覧

【講演者】 ハーベイ・オルター博士（アメリカ国立衛生研究所・名誉研究員）

【対象】 どなたでも参加できます（高校生以上推奨）
※言語：英語・日本語（同時通訳あり）

【申し込み】 <https://hu-lecture.net>

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室
URA部門 高山
TEL:082-257-1976



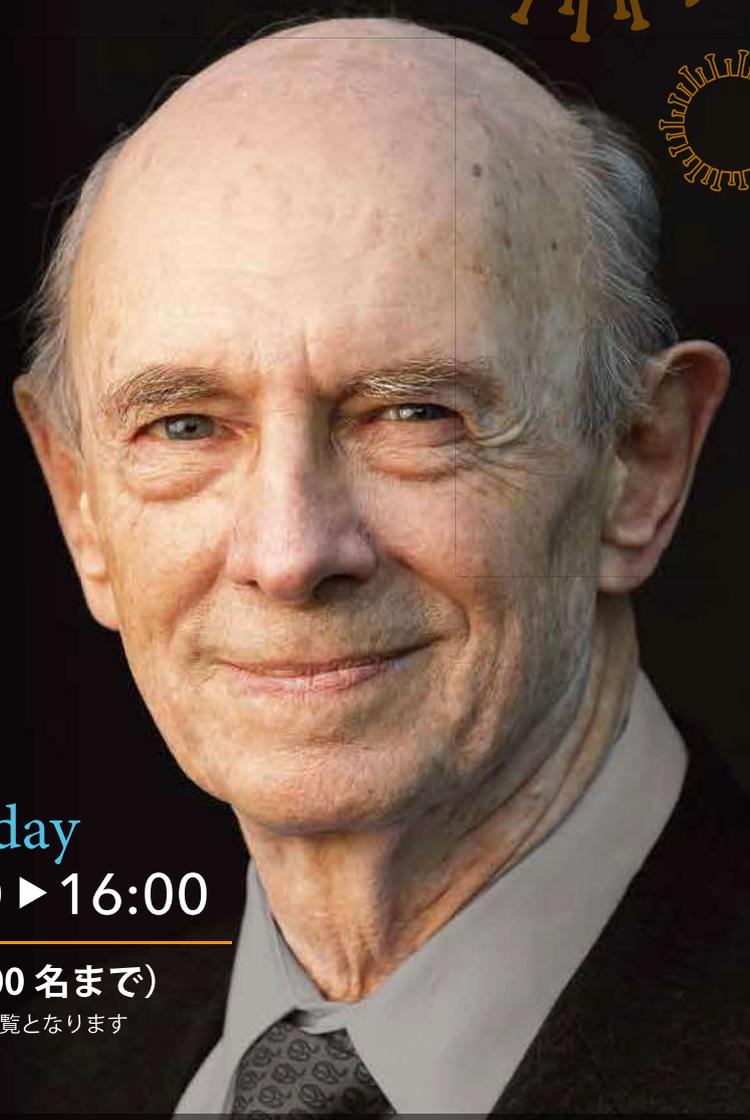
広島大学から世界へ

～世界のトップ研究者に聞く 第5弾～

Harvey James Alter 博士

アメリカ合衆国のウイルス学者。
アメリカ国立衛生研究所の名誉研究員。
C型肝炎ウイルスの研究で知られ、数多くの賞を受賞。
2020年にはノーベル生理学・医学賞を受賞。

Photo : Joy Asico © Nobel Prize Outreach.



2021 **9.25** Saturday
14:00 ▶ 16:00

要予約 Zoom オンライン開催 (先着 500 名まで)

※ 事前予約で 501 名以降の方は YouTube での配信閲覧となります



来たれ！未来の科学者たち

第4弾に引き続き、世界トップ研究者の招待講演として、C型肝炎ウイルスを発見した米国のハーベイ・オルター博士の講演会を開催いたします。この発見は、世界で推定約7,100万人が感染しているC型肝炎ウイルスの高精度の検査や治療薬の開発につながり、多くの人の命を救いました。そのことが評価され、オルター博士は2020年にノーベル生理学・医学賞を米英国の研究者2人と共同受賞されました。世界トップ研究者のお話を身近に聞ける、またとない機会です。未来の科学者を目指す皆さん、きっと新たな夢と情熱が湧いてくるはずです。

広島大学長 越智 光夫

シンポジウムについて

- どなたでもご参加いただけます。(高校生以上推奨)
- 詳しい情報は随時ウェブサイト (<https://hu-lecture.net>) で更新いたします。
- 事前予約はウェブサイトのお申し込みフォームから行えます。
- 言語：英語・日本語 (同時通訳有)

お問い合わせ先

広島大学 学術・社会連携室 URA 部門 (担当：高山)
〒734-8551 広島市南区霞1丁目2-3
E-mail : hussympo@hiroshima-u.ac.jp
主管：広島大学 学術・社会連携室 研究大学強化促進事業



令和3年8月31日

「広島大学環境物質研究総覧」を発刊しました

このたび、大学院先進理工系科学研究科が中心となり、広島大学における環境物質に関する研究と研究者をまとめた「広島大学環境物質研究総覧」を発刊しました。

先進理工系科学研究科は、既存の理学・工学系の5つの研究科17専攻を再編・統合し、2020年4月に設置された新しい研究科です。幅広い分野の優れた教員・研究者が、Society5.0や第4次産業革命といった、これからの複雑でグローバルな諸問題解決のための研究と、こうした社会を乗り越えていく伸び代のある有為な理工系人材の育成を推進していますので、本研究科には多様な分野の課題を総合的に解決に導く優れた研究開発力があるといえます。

本総覧は、本研究科を中心とする環境問題解決をめざす広島大学の教員・研究者が進めている環境物質に関連する研究をコンパクトにまとめたもので、「環境ガバナンス部門」や「カーボンリサイクル部門」など7つの部門における本学の研究アクティビティを紹介しています。

本総覧は、学内の融合研究推進のためだけでなく、さまざまな業種の企業、広島県内外の自治体、各種団体の皆様に本学の環境物質研究と研究者、研究力を知っていただくためのものです。今後、本総覧は、広島県内の主な企業や自治体などに配布し、活用してもらう予定です。

環境問題解決の糸口を見出す第一歩として本総覧を活用していただくとともに、本学の研究者との交流や共同研究など新たな展開が生まれることを大いに期待します。

【お問い合わせ先】

工学系総括支援室

坂本 晃一

TEL:082-424-7505 FAX:082-422-7039

令和 3 年 8 月 31 日

第 14 回アジア交通学会国際会議の開催について

アジア交通学会は、2021 年 9 月 12～14 日に第 14 回アジア交通学会国際会議を開催します。本学の藤原章正教授(大学院先進理工系科学研究科)が、大会実行委員長を務めます。

本大会は、2 年に一度開催される交通分野の国際会議です。アジア地域を中心に、交通の諸問題に関わる理論研究の第一線の研究者と、交通課題の解決に取り組む実践研究の専門家が一同に会するアジアで最大規模の交通分野の国際会議です。3 日間にわたって、世界から 550 人を超える参加者が集まり、交通関連ビッグデータの調査分析手法、都市内／都市間公共交通計画、AI や ICT を活用した新しい交通サービス、災害時の交通マネジメント、大規模プロジェクトの資金調達制度などの多様なテーマに関して、最新の研究成果の発表と情報交換を行います。

初日の開会式では、赤羽一嘉国土交通大臣、越智光夫学長他からビデオメッセージの形で来賓祝辞をいただくほか、基調講演では、世界交通学会 WCTRS の会長で航空交通に関する研究の第一人者である Tae Hoon Oum (British Columbia 大学)他 3 人が講演を行います。

なお、昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンライン形式で開催します。

記

【日時】2021 年 9 月 12 日(日)～14 日(火)

【開催場所】オンライン開催

【学会 WEB】<https://eastshiroshima-u.ac.jp>

【使用言語】英語

【お問い合わせ先】

第 14 回アジア交通学会国際会議(2021 年広島大会)実行委員会事務局
広島大学大学院先進理工系科学研究科
〒739-8529 東広島市鏡山 1-5-1
TEL & FAX : 082-424-4814 E-mail : asmo@hiroshima-u.ac.jp
※受付時間 : 9:30～17:00 (土日・祝祭日を除く)

第14回アジア交通学会国際会議（広島大会）の主な行事

1. 行事一覧

- | | | |
|------------------------------|----------|-------------|
| (1) 開会式 | 9月12日(日) | 09:30~10:30 |
| (2) 基調講演 | 9月12日(日) | 10:30~12:30 |
| (3) EASTS-ADBI-WCTRS 合同セッション | 9月12日(日) | 15:00~16:30 |
| (4) 会長特別セッション | 9月14日(火) | 09:00~10:30 |
| (5) EASTS-ADBI 合同セッション | 9月14日(火) | 14:45~16:15 |
| (6) 閉会式 | 9月14日(火) | 16:30~18:00 |

2. 内容

(1) 開会式

日時：9月12日(日) 9:30~10:30

プログラム：

9:30~9:40 開会挨拶

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| ① EASTS 会長 | Jaehak Oh (韓国交通研究院) |
| ② 大会組織委員長
(EASTS-Japan 会長) | 田村 亨 (北海商科大学) |

9:40~10:00 来賓祝辞 (ビデオメッセージ)

- | | |
|----------------|-------|
| ① 国土交通大臣 | 赤羽一嘉氏 |
| ② (独)国際協力機構理事長 | 北岡伸一氏 |
| ③ 広島県知事 | 湯崎英彦氏 |
| ④ 広島大学長 | 越智光夫氏 |

10:00~10:20 ビデオ上映

(2) 基調講演

日時：9月12日(日) 10:30~12:30

- | | |
|----------------------------|---|
| 講師①：Dr. Jaehak Oh | President, EASTS |
| 講師②：Prof. Akimasa Fujiwara | Chair of Conference Committee,
EASTS |
| 講師③：Prof. Tae Hoon Oum | President, WCTRS |
| 講師④：Dr. Jamie Leather | Chief of Transport Sector
Group, ADB |

(3) EASTS-WCTRS-ADBI 合同セッション

日時：9月12日(日) 15:00~16:30

テーマ：COVID-19 and Urban Transport Policy in Asian Developing Countries

モデレーター Junyi Zhang, Co-chair, WCTRS COVID-19 Task Force, Hiroshima University

講演：Dr. K. E. Seetha Ram Senior Consulting Specialist, ADBI

パネリスト：Dr. Velmurugan Senathipathi, Central Road Research Institute, India
Dr. Hussein Sinsuat Lidasan, The University of the Philippines
Dr. Jeesun Lee, Korea Transport Institute (KOTI)
Dr. Hironori Kato, The University of Tokyo
Dr. Yoshitsugu Hayashi, WCTRS COVID-19 Task Force, Chubu University
Dr. K. E. Seetha Ram, ADBI

- (4) 会長特別セッション（パネルディスカッション）
日時： 9月14日（火）09:00～10:30
テーマ： Transforming Transportation in the Era of Climate Change
Crisis and 4th Industrial Revolution
モデレーター Jaehak Oh, President, EASTS
パネリスト Yoshitsugu Hayashi, Former President, WCTRS
Tetsuo Yai, Former President, EASTS
Jason Chang, Vice-president, EASTS
Jamie Leather, Chief of Transport Sector Group,
Asian Development Bank
Binyam Reja, Global Practice Manager and Acting
Global Director for Transport, World Bank
- (5) EASTS-ADB 合同セッション（パネルディスカッション）
日時： 9月14日（火）14:45～16:15
モデレーター Ms. Tomoyo Nonaka, Full Member of The Club of
Rome & Chairperson of The Board of Directors,
NPO Gaia Initiative
パネリスト Yoshitsugu Hayashi, Distinguished Professor,
Chubu University, Japan
Werner Rothengatter, Professor, Karlsruhe
Institute of Technology, Germany
K. E. Seetha Ram, Senior Consulting
Specialist, ADBI, Japan
Junyi Zhang, Professor, Hiroshima University,
Japan
James Leather, Chief of Transport Sector, ADB,
Manila, Philippines
Geetham Tiwari, Professor, Indian Institute of
Technology Delhi, India
Pelin Alpkokin, General Manager of Istanbul City
Transport Policy Division, Turkey (TBC)
Francesca Pagliara, Professor, University of
Naples, Italy
- (6) 閉会式
日時： 9月14日（火）16:30～18:00
プログラム：
16:30～ 主催者挨拶、各種表彰等

	Sep 12 (SUN)	Sep 13 (MON)	Sep 14 (TUE)	
9:00				9:00
:30				:30
10:00	9:30-10:30 Opening Session	9:00-10:30 Technical Sessions	9:00-10:30 Special Session	10:00
:30				:30
11:00	10:30-12:30 Keynote Speeches	10:40-12:10 Technical Sessions	10:40-12:10 Technical Sessions	11:00
:30				:30
12:00				12:00
:30				:30
13:00				13:00
:30				:30
14:00	13:20-14:50 Technical Sessions	13:10-14:40 Technical Sessions	13:00-14:00 Technical Sessions	14:00
:30				:30
15:00	15:00-16:30 EASTS-WCTRS-ADBI Joint Session	15:00-16:30 Technical Sessions	14:45-16:15 EASTS-ADBI Joint Session	15:00
:30				:30
16:00				16:00
:30				:30
17:00	16:50-18:20 Technical Sessions	16:50-18:20 Technical Sessions	16:30-18:00 Closing Session	17:00
:30				:30
18:00				18:00
:30				:30
19:00				19:00
	Sep 12 (SUN)	Sep 13 (MON)	Sep 14 (TUE)	

以上

令和3年8月31日

学生・教職員を対象としたワクチン接種について

広島大学で実施した大学拠点接種の2回目の接種を終えましたので、ご報告します。

1. 東広島キャンパスによるワクチン接種状況（1回目及び2回目）

東広島 キャンパス	1回目 接種数	2回目 接種数	学内対象者に対する 接種率（対象者）
学生	9,306人	9,050人 97.2%	72.6% (9,050人 / 12,459人)
教職員	2,182人	2,145人 98.3%	85.3% (2,145人 / 2,516人)
その他	5,176人	4,864人 94.0%	
合計	16,664人	16,059人 96.4%	

※その他は、同居家族、大学（近畿大学、県立広島大学、その他の大学で海外留学希望者等）、学校で日常的に業務を行う者、東広島市関係者、附属高等学校・附属福山高等学校生徒を含む。

※最後の2回目は9月18日（土）を予定。

2. 霞キャンパスによるワクチン接種状況（1回目及び2回目）

霞 キャンパス	1回目 接種数	2回目 接種数	学内対象者に対する 接種率（対象者）
学生	1,620人	1,589人 98.1%	76.8% (2,225人 / 2,897人)
教職員	300人	290人 96.7%	98.7% (3,802人 / 3,853人)
その他	2,001人	1,850人 92.5%	
合計	3,921人	3,729人 95.1%	

※その他は、同居家族、大学（広島市立大学、その他の大学で海外留学希望者等）、学校で日常的に業務を行う者、プロスポーツの選手等を含む。

※学内対象者に対する接種率には、医療従事者向けワクチン接種者数を含む。

【お問い合わせ先】

財務・総務室総務グループ
山下 洋一
TEL:082-424-6011 FAX:082-422-6020

令和3年8月31日

文部科学省教育関係共同利用拠点に「水産実験所」および
「附属練習船豊潮丸」が再々認定されました

文部科学省が公募する令和3年度「教育関係共同利用拠点」に、「広島大学大学院統合生命科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター竹原ステーション（水産実験所）」および「広島大学生物生産学部附属練習船豊潮丸」が再々認定されました。（令和4年4月1日～令和9年3月31日の5年間）

「教育関係共同利用拠点」とは、多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくため、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進することで、大学教育全体として多様かつ高度な教育を展開していくことを目的として、平成21年9月に創設された文部科学大臣の認定制度です。2施設とも、平成24年度の初認定から継続して認定を受けています。

来年度以降も、教育関係共同利用拠点として、我が国の社会が必要とする人材を、多様な大学と共同して効果的に教育しながら養成するとともに、実践教育を発展させて「専門技術者」を養成することを目的とし、積極的に他大学の学生を受け入れて活動を行います。

■水産実験所の再々認定後の新たな取組

生物多様性を保全しつつ、水産資源を持続可能な形で利用する海域を「里海」と定義し、その持続的利用とレジリエンス（回復力、強靱性）について瀬戸内海域をフィールドとして教育を展開する。令和5年度から「海洋生態系における低次生産を学ぶ演習」を新規開講する。

■附属練習船豊潮丸の再々認定後の新たな取組

SDGs達成のためにソリューションを提供する洋上実習を新規開講するほか、動画や双方向通信を利用した課題解決型 e-learning プログラムを新規に実施する。

【お問い合わせ先】

生物学系総括支援室

総務・人事担当 清水 秀明

TEL:082-424-7904 FAX:082-424-2459